

## 第6章 庁舎等行政施設の実施計画

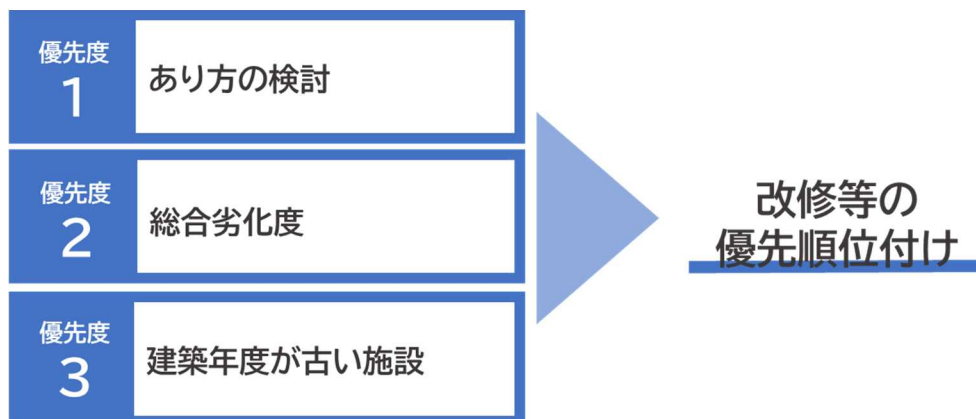
### 6-1 改修等の優先順位付けと実施計画

#### (1) 実施時期の考え方

「施設の状態等」や「施設整備の基本的な考え方」、「施設整備の水準等」を踏まえ、庁舎等行政施設の改修等に関する優先順位付けの考え方を示します。

優先順位付けについては、総合劣化度の点数が高い施設から順に行うことを基本としますが、改修等の実施時期の平準化を図るため、次の点を考慮して、優先順位付けを行うものとします。

図表 6-1 優先順位の検討



(2) 実施スケジュール

図表 6-2 直近10年間の整備スケジュール

年度	2024(R06)		2025(R07)		2026(R08)		2027(R09)		2028(R10)		2029(R11)		2030(R12)		2031(R13)		2032(R14)		2033(R15)		
	工事名	事業費	工事名	事業費	工事名	事業費	工事名	事業費	工事名	事業費	工事名	事業費	工事名	事業費	工事名	事業費	工事名	事業費	工事名	事業費	
施設整備費	取手市役所(本庁舎・新庁舎・議会棟)																				
	長寿命化改修			議場外壁(設計)	2,560	議場外壁(工事)	80,000														
		取手市役所分庁舎																			
	大規模改修(老朽化)			キュービクル(設計)	790	キュービクル(工事)	13,500	屋根・外壁(設計)	2,400	屋根・外壁(工事)	63,000										
		取手市役所藤代庁舎																			
	脱炭素化																				
		照明器具改修工事	79,000																		
	維持修繕費	取手市役所(本庁舎・新庁舎・議会棟)																			
			3,442		3,442		3,442		3,442		3,442		3,442		3,442		3,442		3,442		3,442
		取手市役所藤代庁舎																			
		1,000		1,000		1,000		1,000		1,000		1,000		1,000		1,000		1,000		1,000	
光熱水費・委託費	取手市役所分庁舎																				
		500		500		500		500		500		500		500		500		500		500	
	取手市役所(本庁舎・新庁舎・議会棟)																				
	97,708		101,797		101,781		103,211		101,797		101,781		103,211		101,797		101,781		103,211		
取手市役所藤代庁舎																					
	37,804		41,498		41,498		41,498		41,498		41,498		41,498		41,498		41,498		41,498		
取手市役所分庁舎																					
	8,030		4,790		4,790		4,790		4,790		4,790		4,790		4,790		4,790		4,790		
合計		227,484		156,377		246,511		156,841		246,027		913,011		154,441		153,027		153,011		154,441	

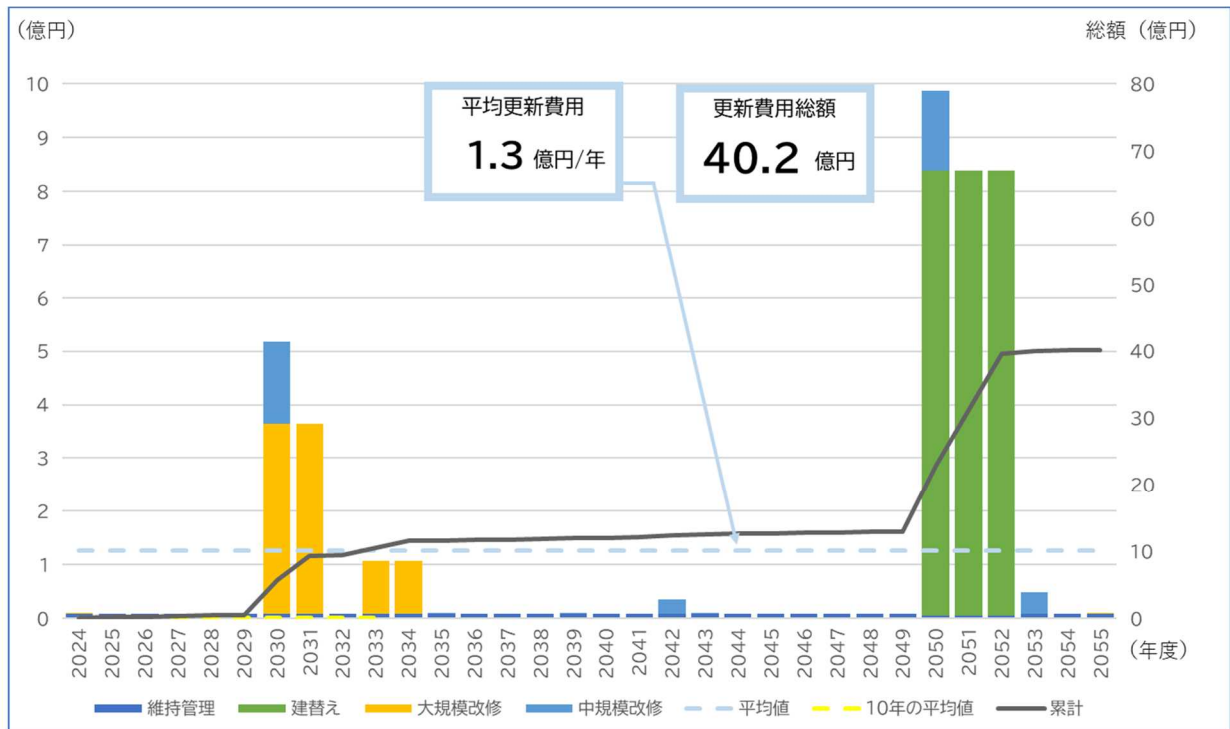
### (3) 優先順位一覧表

図表 6-3 優先順位一覧表

優先順位	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	保全種別	優先度 1 あり方の検討			優先度 2	優先度 3
									種別	実施年度	結果	総合劣化度	築年数
1	取手市役所	取手市役所 (本庁舎)	8001	RC	4	4,640	1970	予防	②	2025	未実施	66	53
2	取手市役所	取手市役所 (議会棟)	8003	RC	2	1,506	1970	予防	①	2028	未実施	58	53
3	取手市役所	取手市役所 (新庁舎)	8002	RC	3	1,661	1993	予防	①	2028	未実施	56	30
4	取手市役所 藤代庁舎	取手市役所 藤代庁舎	8004	RC	4	6,172	1990	予防	①	2025	未実施	61	33
5	取手市役所 分庁舎	取手市役所 分庁舎	8005	RC	2	2,306	1982	予防	①	2022	存続	61	41
6	取手市役所 分庁舎	取手市役所 分庁舎 エレベータ	8006	S	2	17	2015	予防	①	2022	存続	32	8

### (4) 更新までの対策費用(概算)

図表 6-4 庁舎等行政施設の今後の維持管理更新コスト(長寿命化)



## 6-2 改修等のコストの見通し ～維持・更新の課題と今後の方針～

### コスト計画における今後の課題

目標耐用年数80年まで維持した場合の32年間(2024～2055)の費用の合計は、約40.2億円  
1年間の平均は約1.3億円と試算されます。令和6年度(2024)からの10年間で約10.3億円かかる見  
込みで、1年間の経費の平均は約1億円となり、ピークとなる令和12年度(2030)では、約5.18億円の  
経費が掛かる見込みです。

昨今の人件費の増加や物価の高騰に伴い、今後の施設の維持管理費については、より多くのコストが掛  
かることが予想されます。市の財政状況も厳しい中でいかにして予算確保し、削減するかが大きな課題に  
なります。

財源を確保するための方策として、専用の基金の創設、貸付・売払い、借地解消等を検討します。

また、建替え・大規模改修に伴う延床面積の減少や、技術革新に伴う設備面での省エネ化、長寿命化、さ  
らには指定管理者制度や包括管理委託、PFI等の公民連携手法などの活用を検討し、コスト削減を進める  
ことで、効果的かつ効率的な施設運営を図り、新たなサービスの導入に取り組んでいきます。

公共施設マネジメントシステムの活用により策定した中長期保全計画を基に、劣化状況等を総合的に加  
味した工事の先送り、前倒しによる予算の平準化を行うことで、財政負担の軽減を図ります。